

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	JAみなみ信州畜産共進会支援事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	農業課		包含する細々目	1	6	1	6	10	1	150	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要	地域経済活性化プログラム2007						
		事業期間	年度～	年度	関連計画 条例等								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	みなみ信州農業協同組合	畜産農家数:戸	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			183	183		
		飼養頭数(乳牛・肉牛・養豚):頭	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			16606	18000		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	共進会の運営をしよう	出品頭数	18目標	146	最終目標	
			18実績	146	19目標	150
			23目標	160	23実績	
			18目標		最終目標	
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	飯田下伊那地域の家畜改良と畜産振興を図り、農業経営の向上に資することを目的として開催される畜産共進会に対する後援負担金。 ・この共進会は、長野県畜産共進会の予選会も兼ねている。長野県内各地域で開催されているが、他地域については審査員が農家巡回時に審査を行っており、農家から集蓄方式で開催されるのは当地域のみである。 集蓄方式で開催されるメリットは、畜産農家が一同に介することによる技術の向上と意識の高揚つながっている。 また酪農においては、県共進会がないため当地域のみでの開催である。 ・この共進会の一環としてJA各ブロックごとのJA祭において畜産物フェアを開催し畜産物の販売促進を図っている。 ・共進会はそれぞれの畜種ごとに部門を分け開催。 豚肉枝肉の部 乳牛・種牛の部 肉牛会場の部 肉牛枝肉(和牛)の部 肉牛枝肉(F1)の部	・後援団体会議への参画 ・負担金納付事務 ・畜産共進会への参画	共進会の開催数	6
	18年度の実績	同上	同上	6
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	0
一般財源	150	150	
事業費計(A)	150	150	
人件費	正規職員所要時間	18年度 40	19年度 40
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	143	143
	トータルコストA+B	293	293

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額を高める活動をする	既存農業者の産出額(農業):億円	現状値	119.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	139.1
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ ・共進会は、長野県畜産共進会の予選会も兼ねている。長野県内各地域で開催されている。 ・市、町村会、関連団体が連携し後援することにより、地域内における畜産技術の向上及び畜産物の地元消費拡大に向けたPRにつながる。	事業を取り巻く状況の変化 ・BSE発生により停止されていた北米産牛肉の再々会された。 ・地域にある優良な農畜産物の地域ブランド化の動きが全国的に展開されている。	事業に対する市民や議会の意見 ・安心・安全な農畜産物を求める消費者が多くなってきている。
---	--	---

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 畜産農家の飼育技術向上は、地域畜産物のレベルアップ、付加価値販売には不可欠であり、その結果が農業経営の向上につながる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 消費者により身近に域内で生産されている畜産物の良さを知って頂くため、畜産物フェアの内容拡充等。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 畜産振興、農家所得向上へつながる事業であるため。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) ・畜産農家の技術向上の機会が失われ、地域ブランド維持ができなくなる。 ・域内消費者に対し畜産の必要性、域内畜産物の消費拡大の場が失われる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 県共進会の予選会であると共に、農業団体が他関連団体と連携し運営を行っているため。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 畜産物の維持拡大には、市町村及び関連団体の連携は必要であるため。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) 後援参画、及び負担金納入業務のため。
	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 後援参画、及び負担金納入業務のため。	公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 域内畜産農家 ・関連団体が相応農負担をし事業運営を行っており妥当である。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 地元消費者への消費拡大展開を図る。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	関連団体が連携し、畜産物フェアの開催。各種イベントによるPR展開を実施。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	